

# 1 演習資料

## (1) ICT 活用簡易プランシート

ICT 活用簡易プランシート

実施 月 日 校時

学年・教科 単元・題材	第 学年 科 「 」 / 時
本時の目標	
ICT の特性	<input type="checkbox"/> 電子黒板 ( ) <input type="checkbox"/> タブレット ( ) <input type="checkbox"/> 実物投影機 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )

過程	学習活動と期待する子供の反応	教師の手立てと ICT 活用
導 入	<b>■ 問題の発見と解決の見通し</b> 1  	目的 : ICT : ( ) 方法 :
	めあて :	
展 開	<b>■ 個の考えの構想</b> 2  	目的 : ICT : ( ) 方法 :
	<b>■ 協働的な解決</b> 3  	目的 : ICT : ( ) 方法 :
終 末	<b>■ まとめと振り返り</b> 4  	目的 : ICT : ( ) 方法 :

(2) 「ICT 活用簡易プランシート」を使った授業づくり

中央教育審議会の答申「幼稚園，小学校，中学校，高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(平成 28 年 12 月)」では，子供たちの学びを質的に高めていくために，子供たちが「何ができるようになるか」を明確にしなが，「何を学ぶか」という学習内容と「どのように学ぶか」という学びの過程を基に，子供一人一人の発達を「どのように支援するか」を考えていく必要があることについて述べられています(図 1)。

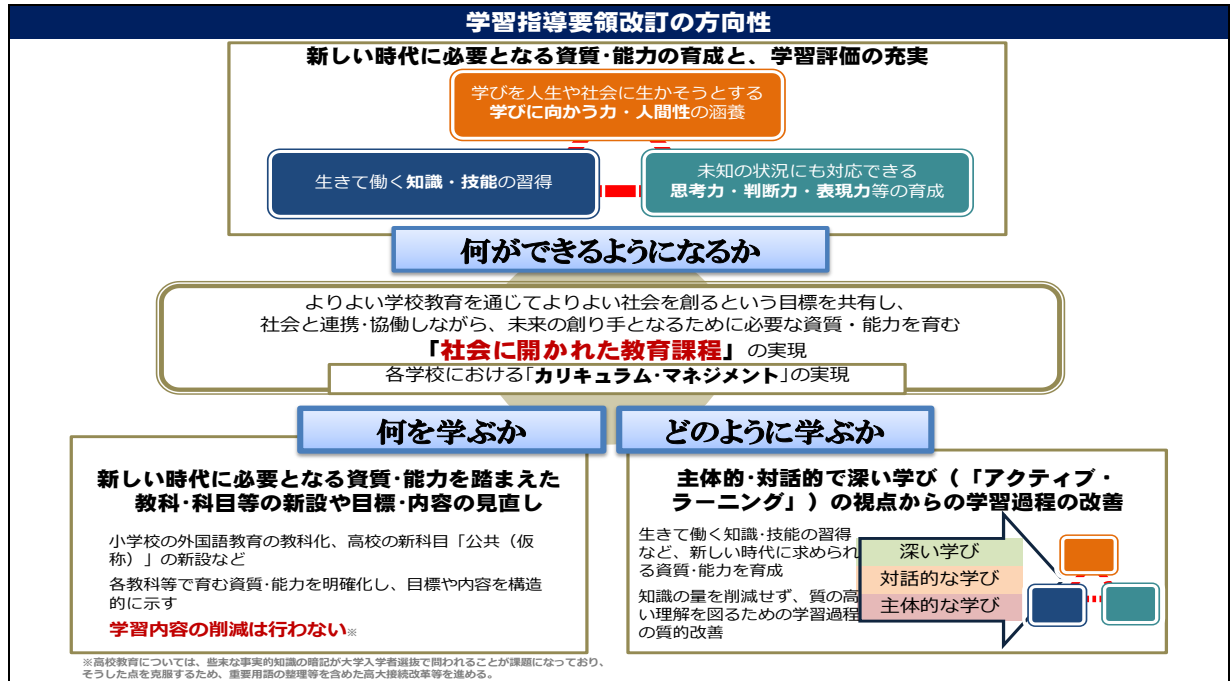


図 1 学習指導要領改訂の方向性

本研究では，次期学習指導要領が求める授業を実践するための授業プラン作成の一助となるよう，「ICT 活用簡易プランシート」の活用を奨励しています。本シートでは，「①何ができるようになるか」「②何を学ぶか」「③どのように学ぶか」「④どのように支援するか」の順で，授業づくりを進めることを想定しています。

まず，「①何ができるようになるか」を意識しながら授業を構想できるように，プランシートに「期待する子供の反応」を記述します。一般的な学習指導案では予想される反応を示すことがありますが，「期待する子供の反応」では，子供の最も高まった姿を一つだけ示します(図 2)。

例	学習活動・内容	予想される子供の反応
	<p>興味・関心をもとに、課題を把握する</p> <p>1 ウナギがどこでたまごを産むかが明らかになるまでに何年間かかったのかについて話し合う</p>	
導	<p>○ 本文の時間の流れについて考えをもち、本時のめあてをつかむこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 80年近くだと思ふ。・ 36年って書いてある。</li> <li>・ 120年くらいかな。</li> <li>・ 何年間かかっているんだろう。</li> </ul>	
入		<p>学習活動 期待する子供の反応</p> <p>問題の発見と解決の見通し</p> <p>ウナギがどこでたまごを産むかが明らかになるまでに何年間かかったのかについて話し合う。</p> <p>みんなが考えた「80年」「36年」「120年」では、時間の長さが全然違うぞ。いったい、何年間かかっているのだろう。</p> <p>めあて:ウナギのたまごを産む場所が明らかになるま</p>

図 2 「期待する子供の反応」の設定例

「期待する子供の反応」に示された姿が、「①何ができるようになるか」の具体的な姿となります。この最も高まった姿を意識しながら「②何を学ぶか」という指導内容を検討していきます。「期待する子供の反応」を示すことで、求める具体的な子供の姿が明らかとなり、そのための学習活動「③どのように学ぶか」を具体化していくことができます。また、「育成する資質・能力、学習内容」とそのための「学習活動」を分けて記述することによって、学習の目的と手段について意識しながら、授業づくりを進めることができます。

こうして記述した①～③は、プランシート左側に整理されるようにしています(図3)。まず、この部分を考えていくことが、子供主体の授業づくりにつながっていきます。

次に、この学びを引き出していくために、ICTの活用も含めて「④どのように支援するか」を考えていきます(図4)。その際には、本研究における「実践例」や「アクティブ・ラーニングの視点に立った1単位時間でのICT活用例」、「アクティブ・ラーニングの視点に立ったICT活用一覧表」等を参考にすることができます。

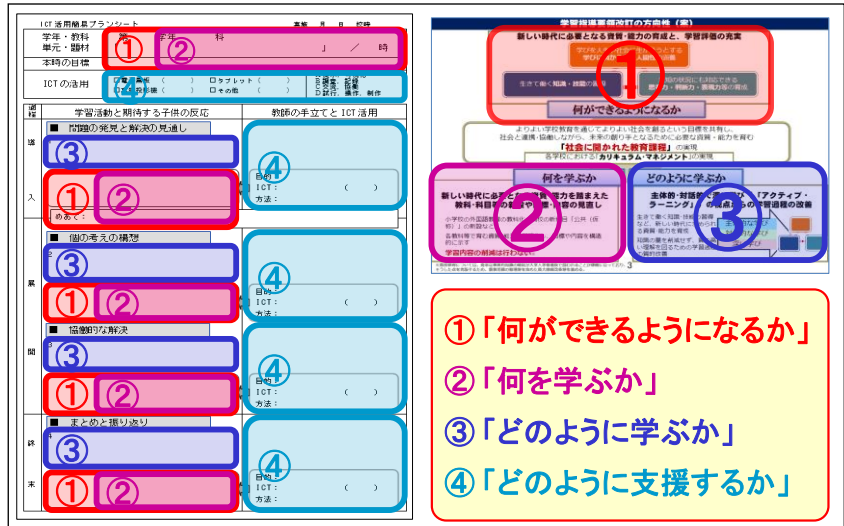


図3 プランシートへの記述内容

過程	学習活動と期待する子供の反応	教師の手立てと ICT 活用
導入	<p>■ 問題の発見と解決の見通し</p> <p>1 ウナギがどこでたまごを産むかが明らかになるまでに何年間かかったのかについて話し合う。</p> <p>みんなが考えた「80年」「36年」「120年」では、時間の長さが全然違う。いったい、何年間かかっているのだろう。</p>	<p>子供に年数を問い、多様な発言から考えの違いに気付くように促す。状況に応じて教師から違う意見を出す。</p> <p>目的：時間の長さの違いを提示 ICT：電子黒板（A） 方法：出された意見の数直線の提示</p>
	<p>めあて：ウナギの産卵場所が明らかになるまでに何年間かかっているのかについて年表に表し、段落の長さを考えよう。</p>	

図4 「期待する子供の反応」を目指したICT活用例

### (3) 教師の授業アンケート

アクティブ・ラーニングの視点に立った授業改善を図るためには、作成した「ICT活用簡易プラン」における「期待する子供の反応」や「ICT活用の方法と効果」について評価していく必要があります。そのための資料として、授業者や参観教師が記入する「授業アンケート」を次に示します。

授業アンケート（授業者・参観者）

記入者 \_\_\_\_\_

実施 月 日 校時

学年・教科 単元・題材	第 学年 科「 _____ 」
----------------	-----------------

学習場面における評価（高い 4～1 低い）とその理由を記入してください。

過程	「期待する子供の反応（ICT活用簡易プランシート）」との比較	ICT活用の方法と効果について
導 入	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <b>■ 問題の発見と解決の見通し</b> </div> 1 実際の子供の反応について <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">                         4 - 3 - 2 - 1                          様子：                          （発言、態度等）                     </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                         4 - 3 - 2 - 1                          理由：                          （改善点）                     </div>
展	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <b>■ 個の考えの構想</b> </div> 2 実際の子供の反応について <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">                         4 - 3 - 2 - 1                          様子：                          （発言、態度等）                     </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                         4 - 3 - 2 - 1                          理由：                          （改善点）                     </div>
開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <b>■ 協働的な解決</b> </div> 3 実際の子供の反応について <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">                         4 - 3 - 2 - 1                          様子：                          （発言、態度等）                     </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                         4 - 3 - 2 - 1                          理由：                          （改善点）                     </div>
終 末	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <b>■ まとめと振り返り</b> </div> 4 実際の子供の反応について <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">                         4 - 3 - 2 - 1                          様子：                          （発言、態度等）                     </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                         4 - 3 - 2 - 1                          理由：                          （改善点）                     </div>

## 2 参考資料

### (1) ICT 活用簡易プランシート記入例

ICT 活用簡易プランシート

実施 ○月 △日 □校時

学年・教科 単元・題材	第 4 学年 国語科 「きょうみをもったところを中心にしょうかいしよう」 3 / 8 時	
本時の目標	本文を基に年表を作成し、文章全体の時間の流れと段落関係を読み取る。	
ICT の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 (A, C) <input checked="" type="checkbox"/> タブレット (B, C, D) <input type="checkbox"/> 実物投影機 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )	A 提示, 可視化 B 調査, 記録 C 交流, 協働 D 試行, 操作, 制作

過程	学習活動と期待する子供の反応	教師の手立てと ICT 活用
導 入	<p><b>■ 問題の発見と解決の見通し</b></p> <p>1 ウナギがどこでたまごを産むかが明らかになるまでに何年間かかったのかについて話し合う。</p> <p>みんなが考えた「80年」「36年」「120年」では、時間の長さが全然違う。いったい、何年間かかっているのだろう。</p>	<p>子供に年数を問い、多様な発言から考えの違いに気付くように促す。状況に応じて教師から違う意見を出す。</p> <p>目的：時間の長さの違いを提示 ICT：電子黒板（A） 方法：出された意見の数直線の提示</p>
	<p>めあて：ウナギのたまごを産む場所が明らかになるまでに何年間かかったのかについて年表に表し、段落の関係について考えよう。</p>	
展 開	<p><b>■ 個の考えの構想</b></p> <p>2 本文を読み、年表を作成する。</p> <p>年と出来事のことばを探して、並べていけばよさそうだ。やってみよう。時間の流れに沿って書かれているようだ。</p>	<p>本文の年や出来事が書いてある箇所から探していくことで、タブレット上の数直線に整理できるようにする。</p> <p>目的：根拠となる叙述の取り出し ICT：タブレット（B, D） 方法：本文中のことばの抜き出し</p>
	<p><b>■ 協働的な解決</b></p> <p>3 それぞれが作成した年表を基に話し合う。</p> <p>なるほど、筆者の塚本さんは、途中から調査に参加したのか。みんなの意見を聞いて、考えが変わったぞ。</p>	<p>不十分な子供の年表を提示し、付け加えや修正意見を促す。</p> <p>目的：時間を表す表現の確認と流れのイメージ化 ICT：電子黒板とタブレット（C） 方法：子供の作成した年表提示</p>
終 末	<p><b>■ まとめと振り返り</b></p> <p>4 時間の流れと段落の関係についてまとめる。</p> <p>調査全体は、80年近くかかっている、塚本さんが参加してから36年経っている。「はじめ」と「おわり」が現在のことになっていたのか。段落関係が分かった。</p>	<p>出た意見の時間の関係を問いかける。文章の構成について書くことができるように、出来事に段落番号を付ける。</p> <p>目的：時間経過と段落関係の視覚化 ICT：電子黒板（C） 方法：意見をまとめた年表の提示</p>



(2) アクティブ・ラーニングの視点に立った ICT 活用一覧表 (P11 資料再掲載)

(主 主体的な学び 対 対話的な学び 深 深い学び)

場面	<b>アクティブ・ラーニングの視点</b> (場面の学びに応じた視点を部分的に取り入れ、授業改善を図ります。)	<b>場面ごとの目的と ICT 活用</b> (場面の目的に応じて、必要な場面で部分的に活用します。)
導入	<b>問題の発見と解決の見通し</b>	目的 <b>問題の焦点化, 共有化</b> <b>観察や方法の確認</b>
	<b>問題を見つける</b> (主) 学習対象への興味や関心を持ち、解決の必要性を考えているか。 (対) 各自の問いに対する感想や考えを出し合っているか。 (深) 自分の見方・考え方と他者との考えに「ズレ」や「隔たり」を感じているか。 <b>解決の見通しをもつ</b> (主) 解決の見通しをもっているか。 (対) 解決のために必要な観点や方法を出し合っているか。 (深) 答えを予想したり、必要な観点や方法を考えたりしているか。	提示, 可視化 <b>試行, 操作, 制作</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・フラッシュカード</li> <li>・拡大表示</li> <li>・写真, 動画の再生</li> <li>・動画のスロー, 早送り再生</li> <li>・アニメーションの提示</li> <li>・マスキング など</li> </ul> 【教材の提示】  <ul style="list-style-type: none"> <li>・画像への書き込みなど</li> </ul> 【教材の配布】
展	<b>個の考えの構想</b>	目的 <b>情報の収集, 選択</b> <b>試行錯誤</b>
	(主) 試行錯誤しながら、粘り強く取り組んでいるか。 (対) 専門家や先哲の考え方などの情報を手掛かりに考えているか。 (深) 複数の知識を関連付けたり、情報を精査したりして、解決策を考えているか。	調査, 記録 <b>交流, 協働</b> <b>試行, 操作, 制作</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・保存データの呼び出し</li> <li>・インターネット検索</li> <li>・写真, 動画の撮影, 即時再生 など</li> </ul> 【調査活動】  <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料, ソフトの配布, 回収 など</li> </ul> 【情報収集】  <ul style="list-style-type: none"> <li>・データの編集</li> <li>・画像への書き込み</li> <li>・消去, リセット機能 など</li> </ul> 【学習状況に応じた個別指導】  <ul style="list-style-type: none"> <li>・思考を深める学習</li> </ul> 【思考を深める学習】
開	<b>協働的な解決</b>	目的 <b>協調, 主張</b> <b>比較, 分類</b>
	(主) 自分の考えを伝えたり、他者の考えを理解したりしながら話し合っているか。 (対) 多様な表現を通じて、自他の考えを比較・検討し、自己の考えを広げ深めているか。 (深) 複数の知識を関連付けたり、情報を精査したりして、解決策を考えているか。	交流, 協働 <b>提示, 可視化</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・データの交換, 結合</li> <li>・データの同時編集</li> <li>・付箋機能</li> <li>・投票機能 など</li> </ul> 【意見の分類・整理】  <ul style="list-style-type: none"> <li>・一覧表示</li> <li>・表現物等の拡大表示</li> </ul> 【発表・討論】
終末	<b>まとめと振り返り</b>	目的 <b>一般化, 体系化</b> <b>学びの自覚化</b>
	(主) 学習活動を振り返って、次時への学習意欲を高めているか。 (対) 互いの学びを出し合い、共有しているか。 (深) 自己の学びや学び方の意味、その価値を実感しているか。	調査, 記録 <b>提示, 可視化</b> <b>交流, 協働</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・データの保存, 再生 など</li> </ul> 【記録の活用】  <ul style="list-style-type: none"> <li>・保存データの読み込み, 再生 など</li> </ul> 【全体への発表】  <ul style="list-style-type: none"> <li>・付箋機能, 投票機能</li> <li>・データの配布, 回収 など</li> </ul> 【投票による集約】

画像引用：文部科学省「学びのイノベーション事業資料」